

## 第3回NPO法人六樹会パソコンサロン理事会議事録

日 時 平成26年12月17日(水曜日) 午前9時00分から11時35分  
場 所 奈良県社会福祉総合センタ2階 ボランティアルーム  
出席者 鎌田 洋、佐渡 正治、中垣 修、藤崎 和子、松本久美子、松本 啓、横尾敏雄  
(オブザーバー参加者) 小走 淑代、佐藤 弘

(敬称省略)

### 審議事項

- 第1号議案 活動経過を踏まえて本会の基本的な活動について
- 第2号議案 平成27年度会運営について
- 第3号議案 研修科について
- 第4号議案 平成27年度事業計画
- 第5号議案 その他

### 開会

定刻になり、理事長の横尾 敏雄さんが議長となり、理事会の開催を宣言した。

### 出席者報告

役員の出席を確認するとともに、今年度の後期および来期の講師体制を議論するにあたり、講師会メンバーに参加要請を行い、小走 淑代、佐藤 弘両氏にオブザーバーとして参加を頂いた。

### 議事録署名人選出

議長から議事録署名人の選出について諮ったところ、「議長一任」の声があったので、議長から藤崎和子さん、松本久美子さんを指名したところ、満場一致をもって選出した。

### 議案審議結果

#### 第1号議案 活動経過を踏まえて本会の基本的な活動について

本会のメンバーの多くは、すでに60歳代後半以上であり、平成27年度の募集開始に先立ち、本会の活動の中心的な役割を担当しているものが、長期離脱を余儀なくされた場合、本会の運営をどこまでどのように進めていくのか、本会の運営の基本について、理事として・個人として忌憚のない意見交換を行い、認識を新たにした。主な意見は、つぎの通りであり、結論として、平成27年度は、今年度と同様に、現状維持の活動を行うこととなった。

- ① 今回の講座総括担当の入院の件に則して、講座に穴をあけることなく乗り越えることが出来て、安心した。これからの事を考えると、どこまで踏み込んだ内容の見直し、世代交代、NPOをどういう形で継続するのか問題である。

- ② 危機管理体制が必要になってくる。また、体制をどのようにして行くのか見直しが必要である。
- ③ NPO法人として維持して行く為には世代交代も止むを得ないのではないか。
- ④ 現在の会員の構成・技術レベルを考慮した場合、新たな教室の開催は無理であり、現状維持が妥当であるが、会員の技術向上に務め、需要が有る限り活動を広げたい。
- ⑤ 現在会員の構成・技術レベルを考えた時、もし仮に異常事態が起こったとしても基礎科は十分に対応することが出来る。応用科については、講座の中断もやむなしであるが、受講生が引き続きパソコンを学習しようとするならば、テキスト・学習のポイント・練習問題の解き方を活用すれば、ある程度の学習は可能だと思う。また、そのような内容の濃いテキスト等を充実していく必要がある。
- ⑥ NPO法人として続けて行くのは、規制が厳しいところがあるので、選択肢として財団の支援を受ける方法も有るのではないか。財団が募集しているので出来ない事はない。
- ⑦ 相談サロンでは他の人と一緒にすることになるので、できれば今年度の応用科卒業生は研修科としてすれば3年間一緒に学ぶことになるので仲間意識が生まれるので、その方法が良いのでは。檀原の応用科を見てみると、仲間意識が生まれ良い状態だと思う。
- ⑧ 香芝教室の応用科終了生はこれまで相談サロンの存在を知らず、場所、時間、日程等全く分からない状態だったので、内容を聞けば興味のある方もあるかもしれない。
- ⑨ 応用科の再受講の要望に対しては、現状の相談サロンを充実して行ったら良いと思う。
- ⑩ 講師体制は拡大したら良いと思う。自分自身が3年間少しずつ経験させてもらったが、予習することにより身に付くので、可能な限り皆さんに担当してもらったら良いと思う。
- ⑪ 初めての年賀状講座担当は良い経験になった。受講生がしっかりしていた。
- ⑫ 講師を始めて体験して、講師会の皆さんにバックアップしてもらい助かった。
- ⑬ 初めて講師を担当したが、これからサポートをして行く上で生かして行きたい。良い経験になった。
- ⑭ 講師会のメンバーは、無線、プリンター、インターネットの接続等、皆が出来るよう勉強が必要だと思う。
- ⑮ プリンターの接続、インターネットの接続等自分で調べて備忘録に残す努力が必要。教室により環境の良し悪しがあるので臨機応変な対応が必要になってくる。
- ⑯ 新たな教室を開催しないとなれば、おのずと運営体制は以前と比べれば縮小態勢になってくる。
- ⑰ サポーターの技術のレベルが上がればより良い講座が出来る（応用科のレベルまで）

## 第2号議案 平成27年度会運営について

### 1. 開催講座数について

第1号議案の中でも意識合わせがなされたが、今年度で檀原第2教室および県ボランティア協議会主催の「ボランティア実践者のためのパソコン教室」が終了するが、新たな教室は開催しないこととする。

### 2. 講師体制について

基本的には、現在の講師会メンバーが担当するが、会員の中にも講師をやってみたいと希望する人（自

分のレベルを上げる為) があるので、世代交代も必要であり、講師会メンバーを拡大しても良いかと思う。ただ、講師は、実力があっても向き不向きがあり、本会の運営の基本と考えている、受講生の理解レベルに合わせて講座を進めることが出来るか否か十分に考慮して配置する必要がある。

いずれにしても、3月に会員一人一人に本会での活動要望を聞き、平成27年度の講師体制については、代表と講座総括担当で検討することとする。

### 3. サポート体制について

現在のサポート体制について、意見交換がなされ、講師体制と同様に会員一人一人の要望を聞き、各教室のサポート体制を代表と講座総括担当で検討することとする。各理事・講師から出た主な意見は次の通りです。

- ① 現在教室講座数から勘案してみて、会員の活動回数が少なく満足度はないと思われる。
- ② 基礎科のサポーターの数に比べ、応用科は少ないので増やしたらどうか。
- ③ 現在皆さんに満足いただけるように、平等に配置するよう努めている。「少数精鋭」にした場合そこから漏れた人はどうするのか問題がある。
- ④ 担当から外されると心配する人がいる。もっとサポートに入りたい人も多くいる。
- ⑤ 講座の充実を考えた場合、教室毎にサポーターのメンバーを固定させるのが一番望ましいが、そうすると、サポーターは現在の約半分のメンバーで十分である。これは、会員の要望と相反することであり、受講生を重視するか、会員の要望を重視するか、悩ましいところである。
- ⑥ サポーターのレベルアップを図る必要がある。また、講座の聴講を希望される方がいるが、サポーターの力のレベルアップは、自分でテキストを見て勉強するしかない。
- ⑦ 櫃原教室2期生の応用科修了時の相談サロンと本会の会員募集の説明が不十分であった結果であるが、サポーターの中には応用科レベルに達していない人がいる。(サポーターに入る技術力の目安の一つをファイル管理(USBメモリの取り扱い)と考えている。)
- ⑧ サポーターの少数精鋭化を考えているが、3月に会員の皆さんにアンケートを取り、意見の集約をして方針を決め、徐々にその体制に持って行きたい。

### 第3号議案 研修科について

第1号議案の中でも検討されたところであるが、応用科修了生の応用科再受講に関しては、現在の相談サロンを見直して対応することとする。主な実施方法は、次の通りです。

- ① 相談サロンの開催日を、第1、3水曜日(午後)とし、5月から変更する。
- ② 開催場所は、現在と同様に奈良県社会福祉センターの会議室を借用する。
- ③ 相談サロンの進め方は、現在と同様に、前半は、ポイント的な機能説明を行い、後半は自習時間としてサポーターのサポートを得て、個々のレベルに合った学習をしていただく。
- ④ 講座内容は、櫃原教室・応用科と同じとし、サポートは必然的に講師会のメンバーが当たる。
- ⑤ 募集方法としては、任意参加者と毎回参加者に区分して、任意参加者は現在と同様にその都度1000円を徴収する。毎回参加者は、応用科と同様に1回800円で12回分前納とする。



第4号議案 平成27年度事業計画

事務局から活動計画(案)および募集チラシ・パンフレットの提案があり、これまでの議論を踏まえて一部訂正を行い、承認された。主な質疑次項は次の通りです。

- ① チラシ・パンフレットの表現は、「募集人員：各教室12名。 募集対象者：おおむね60歳代の方」とし、受講生は、これまで通り基本的には50歳から70歳とする。
- ② 平成27年2月から募集案内の配布とするが、紹介者があれば1月からでも対応する。
- ③ 3月13日(金曜日)午後1時から、宇陀市中央公民館榛原分館で公開抽選を行う。

第5号議案 その他

(1) パソコンの周辺装置の問題について

マイパソコンでの開催であるがゆえの問題であるが、今まで同様に受講生のパソコンのインターネット環境・無線ラン・プリンターの接続等の充実に努める。

(2) W I M A Xの電波状況の問題について

現在の各教室の電波状況は、榎原教室は会場(会議室)により悪く、宇陀教室は常に電波状況が悪く、香芝教室は良好である。榎原教室は、会場予約により問題の解決が出来るが、宇陀教室はW I M A Xのサービス状況上の問題であり手の打ちようがない。以前、公民館の有線LANを借用したが、設定が毎回必要である等問題があり、断念したところである。

なお、無線ランの高速化については、現在W I M A X 2のサービスが提供されており、来年の契約更改時に検討をしたい。

以上をもって議事全部を終了し、11時35分に閉会した。

以上この議事録が正確であることを証します。

平成26年12月24日

議 長

横 滝 敏 雄



議事録署名人

藤 崎 和 子



議事録署名人

松 本 久 美 子

